



第11回上田八木・金融政策サーベイ(2017年4月)

発表日：2017年4月25日（火）14：00 上田八木短資株式会社

調査日	2017年4月20～24日
調査先	198先
回答率	93.9%

（Q1）日本銀行の次回の金融政策決定会合（4月26日～4月27日）における決定内容について、どのような結果になるとみているのか。

	(今回)	(前回3月14日)	変化幅
緩和	0 (構成比%)	0	0
不変	100	100	0
引締	0	0	0
上田八木・金融政策インデックス (「引締め」-「緩和」構成比%)	0	0	0

（Q2）3か月先の無担保コールON金利は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回3月14日)	変化幅
低下	1	4	▲3
不変	89	86	+3
上昇	10	10	0
短期金利予想DI	+9	+6	+3

（Q3）3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回3月14日)	変化幅
低下	3	1	+2
不変	80	69	+11
上昇	17	30	▲13
2年国債金利予想DI	+14	+29	▲15

（Q4）3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回3月14日)	変化幅
低下	6	3	+3
不変	63	75	▲12
上昇	31	22	+9
10年国債金利予想DI	+25	+19	+6

質問（Q5）現状の金融緩和（オーバーシュートコミットメント）からの出口開始時期はいつ頃か。

（ここでの「出口開始時期」はオーバーシュートコミットメントを考慮したもので、例えば消費者物価が4月に目標にワンタッチした後に6か月後にその時期が来ると予想すると「出口開始」は10月という意味です。資産買入れの残高が減っても物価目標を達成していなければ「出口開始」とはみなしません）

	(今回)	(前回3月14日)	変化幅
1. 1年未満	5%	5%	0%
2. 1年以上3年未満	66%	64%	+2%
3. 3年以上	29%	31%	▲2%